



ライスプロセッサRAPP-550C

1台5役で省スペース

土地は生産者にとって何にも代えがたい財産であり、圃場は広いにこしたことはない。であれば調整作業のためのスペースにも注意を払いたい。これもまた土地だ。

全長1950mm×全幅1750mm×全高2450mmのライスプロセッサの中には、石抜機、糠ファン、精米機、シフタ、色彩・異物選別機（550Gタイプ）の調製機械がすべて収められている。使用する床面積はわずか3.2㎡に過ぎない。

1台で連続的に数役をこなす効率性もさることながら、複数の機械が並び狭くなりがちな作業場を、広く有効的（それは同時に作業安全性につながる）に使えるという点でこの機械を評価したい。

山本製作所の在販調製機械が収まっており、各機能、精度はそのまま。各機械を取り出すことができ、メンテナンス性も考慮されている。土地の有効活用は圃場だけの話ではない。

希望小売価格……

6,930,000円（税込み）

■寸法／全長1950×全幅1750×全高2450 ■重量／900kg ■機械／供給ホッパ：30kg容量（ロータリー式）、石抜機：無残粒方式、昇降機：3インチバケベルト方式、精米機：5.5kW無残粒方式、シフタ複合水平揺動方式、色彩選別機：色彩選別式（550Gタイプはプラス異物選別式）及びエアエジクタ式、制御関係：シーケンサ制御 ■コンプレッサ容量／1.5kW

■株式会社山本製作所

〒994-8611

山形県天童市大字老野森404

023-653-3411 <http://www.yamamoto-ss.co.jp/>



フレタンクFT-5
フレパンFP-1000

効率的な作業体系のつなぎ役

とかく農業機械の進歩は部分的に捉えられがちだが、機械化による省力は一部だけを見ては語れない。作業体系全体を見ず、ある工程の機械だけが発達するなら、間にいる作業者に余計な負担を負わせかねない。

近年、各地で玄米の出荷形態が30kg紙袋からフレコン出荷に変わってきている。その中で、籾摺り作業を止めることなく、フレコン袋を交換できるこの中継タンクは、“間”を埋めるものとしてよく考えられている。

タンクには約5俵分の玄米をストックできるため、フレコン交換時、前述の通り籾摺機を止める必要がない。フレコン移動台車のフレパン（写真フレコン下）とセットで考えれば、調製・運搬作業はさらに効率化するはずだ。また、オプションのフレコンバック取付金具やフレパン用の移動ハンドルを使えば、安全性も向上する。

この商品は、野球で言うなら2番打者的なつなぎ役として評価されるべき商品だ。

希望小売価格……

105,000円（フレタンクFT-5）

23,100円（フレパンFP-1000）※共に税込み

■容量／約5俵 ■フレタンク寸法／全長1470×全幅1470×全高200枠の高200mm ■同出口までの高さ／1890mm ■フレパン寸法／全長1090×全幅1090×全高250mm

■株式会社ホクエツ

〒959-1277

新潟県燕市物流センター2-29

0256-63-9155 <http://www.hokuetsu.jp>

REVIEW

3連コンビネーションで刈り幅約8M

クローネ社イージーカット8000CV



14

効率、作業性を抜きにして、とにかく見た目のインパクトでこれを押す。作業写真を見ると外車トラクタが小さく見え、刈るというよりなぎ倒すかのようだ。

フロントに中央刈取り用モアが、リアに左右刈取り用のモアが付く。これにより走行幅の2.5倍を同時に刈ることが可能だ。リアの左右モアは走行中折りたたみが可能で、圃場の端を刈る際や先に刈取ってできたスワースを避けるなど、臨機応変な作業ができる。

オプションのスワサーを取り付けると、3本に刈ったスワースを刈取りと同時に1本にまとめることも可能。

フロントモアは、登り下りのどちらでも大きく動く必要があるが、長いスキッドと振り出し式トップリンクにより地面に対し高い追随性を示す。またリアモアは、センター重心方式を採用しており、独立した2本のバネと共に左右の接地圧を自動的に調節する。

機能もさることながら、カッコイイ作業機だ。

希望小売価格…… 13,335,000円(税込み)

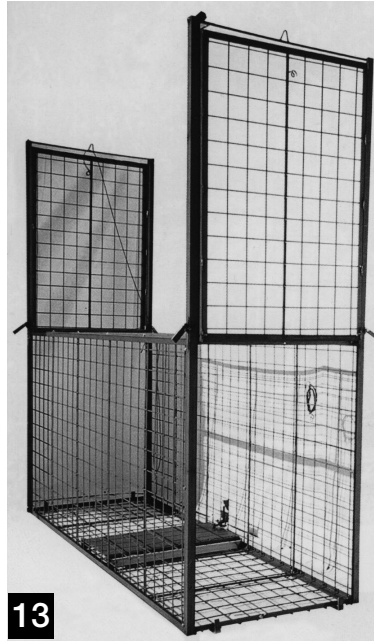
■総作業幅/7800mm ■各作業幅/フロント3140mm、リア(片側)2710mm ■走行幅/3000mm ■カッティングディスク数/13 ■同ドラム数/6 ■コンディショナー/V字タイン式 ■PTOスピード/1000rpm ■重量/フロント960kg s、リア2220kg s ■必要PTO馬力/125kW/170hp ■作業効率/8ha/10h

■(株)エスピーエム

〒088-0616

北海道釧路郡釧路町曙1-1-9

0154-37-7100 <http://www.sp-m.co.jp>



13

中田式野獣捕獲檻各種(踏板方式)

野獣被害防除。檻はここで売っている。

農林水産省の統計によると、近年の獣類による農作物被害面積は、7万haに上る(平成14年度時点)。ここ10年を見ると、若干の増減があるものの被害が増加傾向にある動物は、鹿(被害面積3万6000ha)とイノシシ(同1万6000ha)だ。

この檻は、栃木県足利市でイノシシによる被害が増加したことがきっかけで作られたという経緯がある。

製作者によると当初は、中央部の棒を回転させ扉を落とす形式だったが、イノシシが棒を警戒して檻に入らなかった。次に試したのがセンサー式、水糸式だ。しかし、センサー式は落ち葉等に反応して誤作動。水糸式は糸をまたがれてしまい捕獲精度が上がらなかったという。

そうした試行錯誤の末完成したのが踏板式の捕獲檻だ。踏板面積は400mm×900mmで底面積の5分の1。踏板高さは5cmで土で仕掛けを隠すことが可能。踏板を踏み込むと同時に扉が下りる仕組みになっている。

希望小売価格……

157,500円(鹿用) 94,500円(イノシシ用標準)

※共に税込み

■寸法/鹿:1000×1300×2500mm、イノシシ:1000×1000×2000mm(標準) ■両扉 ■運搬/9分割 ■受注生産

■(有)中田研磨工業

〒326-0004

栃木県足利市榊崎町995

0284-42-4702

おすすめ商品